

認知症の人と家族の一体的サポートプログラム 認知症関係者対象セミナー
2022年2月8日資料



なご
つどって、和もう、
笑いあおう

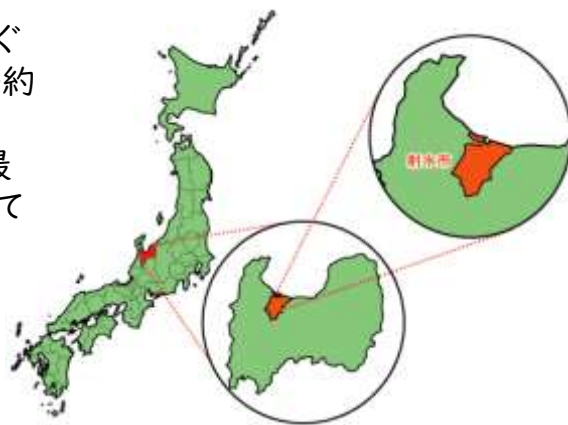
富山県射水市地域福祉課
安元 美貴子



いみず 射水市の概要 いいとこ、いいもの、ギョギョっと！射水

射水市は雄々しい立山を東に仰ぐ
富山県のほぼ中央に位置し、半径約
7kmのまとまりある地域です。

「いみず」という地名は、わが国最
古の歌集「万葉集」の中にも表れて
います。



GOOD DAY! with なごもっと

高齢者を取り巻く現状

- 人口 91,860人(県内第3位)
- 高齢者人口 28,000人
- 高齢化率 30.5%
- 認知症高齢者数[※] 3,232人(高齢者人口の11.5%)

※要支援・要介護認定者における、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱa以上の者

令和3年9月30日現在

GOOD DAY! with なごもっと

- 地域包括支援センター 委託5か所
 - ・認知症地域支援推進員「認知症ささえ隊」5名
(地域包括支援センターに各1名配置)
 - ⇒**地域の特性(人・物)を熟知している**

- 月1回『認知症地域支援推進員部会』を開催
 - ・認知症施策の方向性の共有
 - ・具体的な検討
 - ・事例検討 等



射水市認知症ささえ隊マスコット
「オレンジちゃん」

GOOD DAY! with なごもっと

開催の経緯

令和2年度～開催に向け検討を開始

○ささえ隊メイトの活動・活躍の場の検討

認知症サポーター養成講座を受講し、さらにステップアップ講座を受講した方。平成29年度から養成し、現在144名。

○認知症の人と家族の会 2つの隣市で開催。

参加者の高齢化⇒**地元での開催を希望する声**

○認知症の人本人からの発信支援

GOOD DAY! with なごもっと

関係者打合せ会の開催

令和3年6月3日

参加メンバー 18名

高岡市民病院認知症疾患医療センター
射水市民病院認知症看護認定看護師
地域包括支援センター、ささえ隊メイト、地域福祉課

- ・目的の共有(既存の事業との違い等)
- ・具体的な運営方法の検討

意見・課題

- ・交通手段の確保⇒歩いていける場所での開催
- ・やりたい事をどのように引き出すか
- ・飲食できたら和む(感染状況を鑑みながら)



GOOD DAY! with なごもっと

事業の周知方法

- チラシの配布
地域包括支援センター、認知症疾患医療センター
認知症の人と家族の会、市役所
- 地域包括支援センター包括会議での、ケアマネジャー等
介護保険事業所への周知
- 射水市ホームページでの紹介
- 射水市公式ラインでの周知
⇒家族(介護者)からの反響が大きかった



GOOD DAY! with なごもっと

なごもっと とは?

射水市にお住まいの認知症の人と家族が集う場。
出会い、つながり、話して、和む…。
そんな場になればと思い、
令和3年7月から始めました。

決まった行事などではなく、
自由に話したり、相談したり、その日に
集まった人で「やりたい事を、その日の
うちにやろう」を大切にしています。



GOOD DAY! with なごもっと



令和2年2月オープン



会場 救急薬品市民交流プラザ1階
和室・キッチンスタジオ

GOOD DAY! with なごもっと

話す・聴く

やってみたい事
好きな事
食べたい物
得意な事
これまでの自分の事
気がかりな事
家族の事・・・いろいろ



GOOD DAY! with なごもっと

やりたい事(プログラム)を通して
距離が縮まり、自然と会話が生ま
れます。そこから見える思い…。



【絵手紙】年賀状を描きました。2022年は寅年。
「新年になったら、年賀状持って会いに行くちゃ。」
「来年もがんばろうね。」



【かぎ針編み】あっという間にコースター完成。
「昔は自分のセーターをほどいて、子どもの服を編
んだもんやちゃ。得意やったがやけどね…。眼も見
にくいし、頭もモヤモヤするし…。」

GOOD DAY! with なごもっと

参加者の声

○つながれる場所がある⇒安心感

○他の参加者の親子のやりとりを見て、「こんな風に接した
らいいんだ。」「認知症とはこういう病気なんだ。」と知ること
ができた。

○同じ立場の人と話すことで心が軽くなった。

○楽しい。元気を分けてもらった。



GOOD DAY! with なごもっと

参加者の声

- 相談したいと思っていたが、相談に踏み切れなかった。
⇒相談窓口にとどり着いていない潜在的な相談がある
- 認定調査の際、地域包括支援センターの方にお世話になった。知っている顔があると安心する。
- 会話の中で自然とスタッフ(専門職)に相談できる。
- 日常のイライラがちょっと減った。

GOOD DAY! with なごもっと

🍀🍀 出会いがもたらす相乗効果

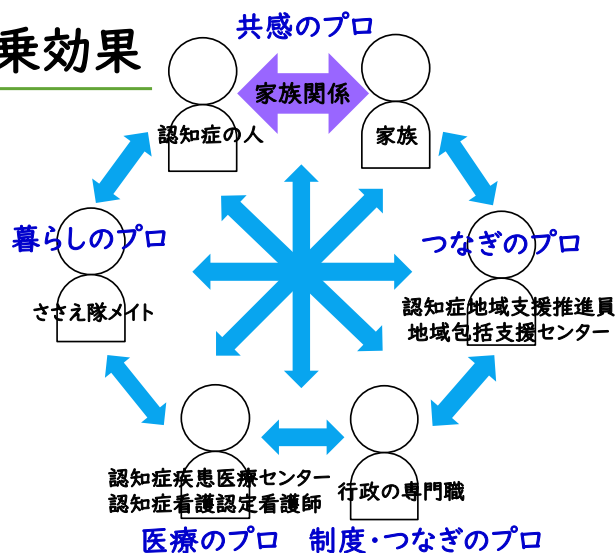
認知症という病気を理解した上で
安心して集える場での出会い

「話す」「聴く」ことで、
お互いが気になかけあう

気づき生まれる

自分の立場・相手の立場に気づく
自分の思い・相手の思いに気づく

家族関係を見つめ直す



GOOD DAY! with なごもっと

専門職の役割




- 家族で抱えきれず、限界になってからの相談
 - 本人との関係性の構築が難しい
 - 本人の思いを十分に聞き取る事ができない



- 楽しい時間の共有、安心できる場での信頼関係の構築
 - ⇒タイムリーでかつ円滑な支援が可能
- 本人・家族の状態をプログラムを通して把握

GOOD DAY! with なごもっと

「なごもっと」の今後の展開

-  「認知症の人と家族の集う場」の継続
 - ・安心して集える場を確保する
 - ・思いを共感できる・共感してくれる人がいる⇒周知
-  専門職やささえ隊メイトとの相談しやすい関係づくり
-  歩いて行ける場所を増やす
 - ・『認知症の人にやさしいお店』との連携
 - ※認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の人にやさしいまちづくりに賛同していただいた事業所



GOOD DAY! with なごもっと

認知症になっても 住み慣れた地域で 安心して暮らせる 射水市



GOOD DAY! with なごもっと

コロナ禍で中止をする事もあり、なかなか思うように進んでいません。それでも、必要な場をしっかりと確保し、着実に広げていく事が大切であると思います。

自分が認知症になった時、自分の住むまちがどうあってほしいですか…。

安心して認知症になれる「我がまち」をつくっていきましょう。

